



広 報

ひだ

町 木



第61号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H24.4.1発行



自治会長就任にあたり

自治会長 森 野 光 夫

宇曾川堤防の桜並木のつぼみが、今開花を迎え一年中で最も過ごしやす季節となりました。町民の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、この度「自治会長」の重責をお預かりする事となりました。もとよりその器でもございませんし、また現役会社員として時間的な余裕もございません。皆様のご期待に添えないばかりか御迷惑をお掛けすることになるかと思ひますが、私なりに精一杯努力させていただきます。たく所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十三年は、「記録的な」という言葉が付く出来事が日本でも、世界でも余りにも多く発生致しました。日本では「東日本大震災」をはじめとして、台風による集中豪雨、竜巻、酷暑など自然災害が多発しこの現象は今年二月の大雪にも見られました。幸いにしてこの肥田町には今のところ「大きな自然災害」もなく平穩に生活できることの有難さに感謝するところであります。しかしながら「地球全体で地震、大洪水、干ばつ、大雪」などの被害が出ている現状を見ると「いつ肥田町が自然災害に巻き込まれるかもしれない」との認識を持たなければならぬと思います。

肥田町も高齢化がどんどん進み、九十戸三百七十人余りの町民のうち百余名の方が六十五歳以上の高齢者となっています。交通安全の朝の街頭啓発に行きますと、小学生は二十名余りの子ども達です。今後益々この傾向は強まり高齢者が四十〜五十%になるのもそんな

遠い日ではありません。

年の初めに今年も恒例の「三町合同による消防防災訓練」が当町において実施されました。消防団員の方も全員が勤めであり、日中家に居られるのは殆どの方が「高齢」で初期消火が出来るのか心配です。肥田町にも「防災組織」が各戸に配布されていますが、今一度組織として機能するように確認と心構えが必要かと思ひます。今年度は「自警団」をはじめ各種団体の方々にもお願いして、災害時の被害を最小限に抑えるためにどのようなして行くのか考えて、出来ることから少しでも進めて行きたいと思つてます。そして今後益々高齢化が進む中において、隣同士声掛け合つて絆を結んでいかなくてはなりません。

次に平成十九年度から始まった「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」は、五年の実施期間を経て、この二十三年度で終了となりました。関係者の方には大変な作業、御苦勞様でした。しかしながら今後農家の減少や高齢化、農村地域の混住化が進行する中、地域ぐるみによる農村資源の保全や集落を支える農村地域力の向上に向けた取り組みを強化する必要があるとの観点から、二十四年度から二十八年度の五年間延長するとの決定がなされました。このことにより更なる水質、生態系などの環境の保全活動を推進していくことになりました。関係者の皆様には何かとお世話になります。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後に先輩方のご指導と、町民各位



ご協力を頂きながら明るい町づくり、住みよい町づくりをめざし、役員一丸となって努力いたします。一層の御支援御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成24年度

ご入学おめでとう

ピカピカの一年生

「大きくなったら私の夢は」
「大好きなもの」



きらり お父さん
宮川 煌理さん 宮川 和宏さん

大きくなったら私の夢は、おいしい、おいしいケーキ屋さんです。今私の大好きなものは「シール」です。



みき お父さん
松山 未来さん 松山 応和さん

大きくなったら私の夢は、美しいお花いっぱい「お花屋さん」私の大好きなものは「アイスクリーム」です。



自治会役員

平成24年度

自治会長	森野 光夫
副自治会長	大村 恭三
会計部長	伊関 新一
文教部長	鶴野 勝彦
福祉部長	薩摩 卓志
環境部長	前田 均
体育部長	高瀬 英彦
改良組合長	元持 正行
副改良組合長	成宮 為夫
改良組合会計	成宮伊佐夫

一声運動

〈人づくりはあいさつから〉

ピカピカの1年生がスタートします。

まずは大人の人々から気軽にすすんで町の子ども達へ「おはよう」「おかえり」など声をかけてあげて下さい。

気持ちのつながりがお互いにうれしいですよ。



ひとくちメモ

自治会には貸出し用に車椅子3台を常設しています。

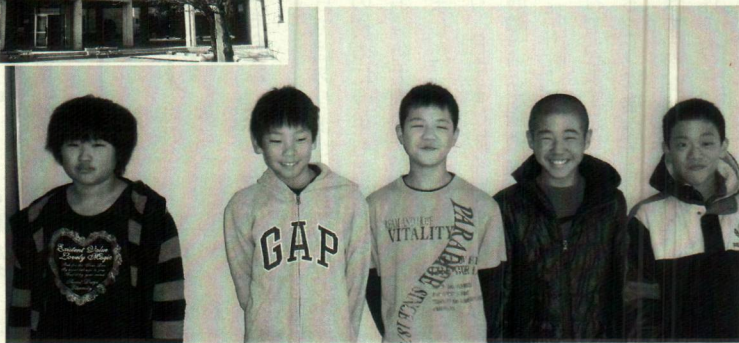
今日までご利用いただいた方から感謝されています。お困りのときは自治会長へ貸出しの申し出をして下さい。

4月から中学校へ進学の皆さん おめでとうございます

皆さんにとって、これからは、学ぶ世界も、人と人との結びつきの世界もどんどん広く深くなって行きます。中学校生活では、これからの自分の未来のために、自分をしっかり創る、体力も造る、そして何より集中力も



養っておく所ではないかと思います。ここでもう一度、自分の夢をしっかり見つめて、「やり遂げる」こと、「よし」の気持ちを大切に進んで下さい。応援しています。



- ・岩尾 陽さん (お父さん 孝さん)
今の夢はマンガ家志望に。 中学の部活は卓球
- ・成宮 亮太さん (お父さん 伊佐夫さん)
今の夢は野球選手に。部活も野球部
- ・藤野 慎也さん (お父さん 喜昌さん)
今も夢は変わらず野球選手 部活も野球
- ・前田 尚人さん (お父さん 均さん)
今の夢は建築家 部活はバスケット
- ・藤野 晴太さん (お父さん 雄士さん)
今も夢も変わらず野球選手
彦根市軟式野球のクラブチームに入部しました

肥田の町に住んでいて感じる事、要望について聞きました。「田舎に住んでいて自然がいっぱいが嬉しい」また、「肥田には古いたくさんの歴史があるので、もっと知りたい」「サッカーや野球も近くて練習の出来るグラウンドが欲しいなあ」の声をいただきました。ご協力有難う。

宇曾川(河川敷)が 美しくなりました。



昨年秋に所轄の県に自治会より宇曾川堤防及び特に河川敷の雑木の伐採、繁茂する雑草、投棄のゴミの処理方をお願いに上がっていましたが、早速にこの2月に河川流域の災害防止上の配慮から対応し作業をいただきました。有難うございました。今後の美観の維持には町の皆さんのご協力をお願いします。

連続講座第5回

「近江の城郭 歴史の舞台となった城」

県教育委員会主催

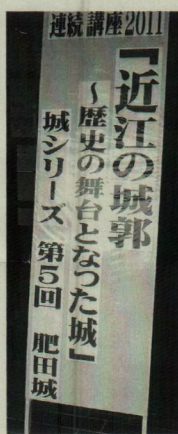
今回は「肥田城」を取り上げて頂き、2月25日聖泉大学で、講師の県教育委員会文化財保護課副主幹 上垣幸徳氏から肥田城を取り巻く戦いの背景や影響について説明を受け、講義終了後、史跡めぐりで「水攻め堤之碑」から宇曾川の景観を見ながら「万葉歌碑」、「肥田城跡碑」、「山王祠」及び「土塁跡」の見学を行う。参加者 250名
共催 聖泉大学総合研究所 肥田城水攻め研究会



水攻め堤之碑



土塁跡



ブック紹介コーナー

今話題の1冊

「金子みすゞ 童謡集」



世の中皆が何かと忙し過ぎる、経済も社会も曇りがちの世相、少し止まって自分の周りを見つめる時間が欲しいところですね。そんな今、金子みすゞさんの詩のところが再び大きく広がっています。自然、人間、通い合うところ、絆、が私たちの気持ちに静かに沁み透って来る風景が何とも素晴らしいです。

是非、大人の心から子どもまで読んで聞かせてあげることの出来る逸品だと思います。稲枝コールはなみの女性コーラスの方々が、2月27日に彦根市議会会場で金子みすゞさんの童謡詩の朗読をされ好評でした。

みすゞさんは、1903年(明治36年)山口県仙崎の生まれ、高校生時代から詩を投稿、20歳で「みすゞ」として昭和4年までに90編を発表、西条八十にも認められ、憧れの星となる。昭和5年に惜しまれながら逝去、26歳代表作を二つ紹介しましょう。

大 漁

朝焼け小焼けだ 大漁だ
大羽鰯(いわし)の大漁だ
浜は祭りの ようだけど
海のなかでは 何万の
鰯のとむらい するだろう

積る雪

上の雪 さむかろな
つめたい月がさして
下の雪 重かろな
何百人ものせていて
中の雪 淋しかろな
空も地面もみえないで